

ていり 市議会だより

■発行：天理市議会
■編集：議会広報編集委員会
<http://www.tenri-gikai.jp/>

〒632-8555
天理市川原城町605
TEL.0743-63-1001
FAX.0743-63-4502

No.48

2009年 5月15日



議会改革に取り組む本市議会では、体験を通じて市議会に関心をもってもらうため、天理大学の学生を招いて、「学生議会」を開催しました。

今回は学生が議員側となり、理事者側となった本市議会議員に様々な質問を問いかけていました。（詳細は本誌10ページ）

CONTENTS

- ▷ 3月定例会
 - 3月定例会の概要 ————— 2
 - 委員会の審査 ————— 2~4
 - 一般質問 ————— 4~5
 - 予算審査特別委員会 ————— 6
 - 議決結果 ————— 7
- ▷ 4月臨時会
 - 概要・議長就任挨拶 ————— 8~9
- ▷ とびっくす ————— 10

平成21年度予算決まる

平成21年第1回定例会は、3月6日に開会し、ボランティアセンターに関する条例案、新年度予算案など多数の重要案件の審議を行い、23日に閉会しました。

6日の本会議では、会期を24日までの19日間と決めた後、議事日程に入り、報告及び承認案が上程され、いずれも原案どおり承認しました。

次に、市長から20年度補正予算、21年度当初予算並びに条例案等の39議案の提案説明及び新年度における市政の展望と基本施政についての所信表明を受け、1日目を散会しました。

再開された10日の本会議では、1議員からの一般質問に続き、上程された議案のうち29議案を各常任委員会に付託し、21年度一般会計予算など10会計予算については、予算審査特別委員会を設置して審査することとし、2日目を散会しました。

11日から17日までの間に各常任委員会及び特別委員会でそれぞれ付託された議案を審議し、39議案いずれも原案どおり可決しました。

再開された23日の本会議では、2議員からの一般質問に続き、付託された議案について各委員長より報告を受け、1議員から3議案に対する反対討論があり、採決の結果いずれも原案どおり可決しました。



また、追加議案の提案説明があり、原案どおり可決しました。

続いて、教育委員会の委員2名と監査委員及び固定資産評価審査委員の同意案4件が上程され、教育委員会の委員に平等坊町の村井稔正氏と西長柄町の中嶋孝氏を、監査委員に柳本町の別所矩佳氏（再任）を、固定資産評価審査委員に田部町の仲川勝敏氏をそれぞれ選任同意しました。

最後に、後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行い、本定例会を閉会しました。

常任委員会審査の概要

文教民政委員会

可決された議案

● 20年度介護保険特別会計補正予算

歳入歳出ともに1億7千885万9千円の増額。歳出の内容は、基金積立金等で、歳入は繰越金及び国庫補助金で充当。

【意見・要望】

◎ 介護従事者の労働条件の改善等、安心して働ける体制づくりと保険料の値上げ抑制を要望。

● 学童保育条例の一部改正
国の事業見直しによる既設学童保育所の分割と未設置校区への学童保育所の新設。

【意見・要望】

◎ 入所児童数の増加に伴い、通所における安全管理等に万全を期されるよう要望。
● 介護保険条例の一部改正

市民経済委員会

可決された議案

● 20年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出ともに2千653万4千円の増額。歳出の内容は、国への精算返納金、予防対策共同保健事業委託及び国保電算委託料で、歳入は療養給付費交付金、繰越金及び前期高齢者交付金で充当。

● 20年度後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出ともに4千260万8千円を減額。歳出の内容は後期高齢者医療連合負担金の減額と医療事務電算処理委託料の増額で、歳入は保険料の減額、国庫補

介護保険事業計画の見直しにより、21年度から23年度までの第一号被保険者の介護保険料の改定。

助金及び一般会計繰入金を増額して充当。

【意見・要望】

◎本制度が始まり一年が経過したが、制度についての啓発活動等、今後の万全なる事業運営を要望。

●20年度老人保健特別会計補正予算

歳入歳出ともに2千187万9千円を減額。歳出の内容は、事業確定に伴う医療給付費及び医療支給費の減額。歳入は医療費交付金及び国・県医療費負担金を減額。

●20年度住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算

歳入歳出ともに371万7千円の増額。歳出の内容は、繰上げ償還に伴う、長期債元金償還金の増額と長期債利子償還金の減額で、歳入は回収管理組合返戻金及び一般会計繰入金を増額して充当。

●20年度市立病院事業会計補正予算

入院・外来患者数の確定による医業収益の減額と職

員の退職に伴う給与費を増額。また、企業債等を減額。

●中小企業振興対策審議会条例の一部改正

商工観光課を商工課と観光課に分けることに伴い条例を整備するもの。

●市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正

病院利用者が適切な医療機関を選択できるように、現行の循環器科を人工透析内科に改正するもの。

●売買代金請求事件に係る調停案の受諾

調停中の事件について調停案を受諾するもの。

建設水道委員会

可決された議案

●20年度大和都市計画下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出ともに2千50万円を減額。歳出の内容は、事業費の確定による下水道事業費及び公債費の減額で、歳入は使用料、市債を減額し、繰入金を増額して充当。

特別会計補正予算
歳入歳出ともに5千200万円の増額。内容は、保留地処分基金設置に伴う、処分金及び基金積立金の増額。
●名阪高架下駐車場の指定管理者の指定
駐車場管理委員会会長 但馬義雄氏を当該駐車場の指定管理者に指定するもの。
【意見・要望】
◎当該駐車場の管理運営のあり方について、協議する場を設けるよう要望。
●市道路線の廃止及び認定道路法の規定に基づき一路線を廃止し、二路線を認定するもの。

総務財政委員会

可決された議案

●20年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額を243億4千420万2千円に定める。歳出の内容は、職員の退職手当、幼稚園・小中学校の耐震診断委託料及び市立病院事業会計や下水

道事業会計への繰出金等で、歳入は市税、国、県支出金、土地売却収入等で充当。

【意見・要望】

◎定額給付金に関して、支給対象者の把握に努め、支給条件を精査されるよう要望。

●ボランティアセンター条例の制定

市民ボランティア活動の支援と交流の場の提供及び啓発等を目的として、ボランティアセンターを設置するもの。

●職員定数条例の一部改正

行政改革により職員数が削減され、実数に合わせるもの。

●特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正

特別職及び教育長の給与の減額措置を平成22年3月まで延長するもの。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

市立病院の医療業務に従事する職員に医療職給料表

を適用するもの。
●一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

前述に伴い、医療業務に従事する職員の特殊勤務手当を見直すもの。

●介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

「介護従事者 処遇改善臨時特例交付金」を管理するため、基金を設置するもの。

●大和都市計画事業山の辺第一工区土地区画整理事業保留地処分基金条例の制定

事業に伴う保留地の売却により生じた処分金を資金に当てるため、基金を設置するもの。

【意見・要望】
◎基金の運用計画等を市民に周知されるよう要望。

●市税賦課徴収条例の一部改正

行財政改革の一環として、納税証明書交付手数料を現行200円から300円に改正するもの。

●手数料条例の一部改正
行財政改革の一環として、住民票の写し等の交付手数料及びその他の証明手数料を現行200円から300円に、自動交付機は250円に改正するもの。

【意見・要望】

◎広報紙へ掲載されるとともに、自動交付機の利用拡大を促進されるよう要望。

●人権センター条例の制定
石上コミュニティセンターと人権啓発課を統合し、天理市人権センターを設置するもの。

●自転車等駐車場条例の一部改正
長期間放置された自転車を撤去し、処分できる規定を設けるもの。

【意見・要望】

◎自転車の処分は原則として、リサイクルされるとともに、市民への周知方を要望。

●市有地の処分について

未利用財産の売却による財源確保のため、天理市嘉幡町201番地1外1筆を

光洋サーモシステム株式会社 代表取締役 梶原道郎 氏に売却するもの。

【意見・要望】

◎当該公有地の土壌を再調査し、汚染物質の除去に万全を期されるよう要望。

●権利の放棄について

山辺広域行政事務組合消防本部（併設天理消防署）庁舎整備事業の財源に充当するため、山辺広域振興基金に対する出資金総額の一部の権利を放棄するもの。



一般質問 (要旨)

今定例会では、3名の議員が一般質問を行いました。ここにその要旨を掲載します。

詳細は、ホームページをご覧ください。

中田 景士 議員

人事評価について

問 近年、行政においても、組織の活性化を図るため旧来の年功序列的な人事管理から能力を重視して客観的に成績、態度、能力を把握する人事評価システムを昨年からは実施されているがその内容はどうか。

答 本市では公務員改革の中で18年度より外部委員も入れて人事評価制度を構築し、まず昨年度は管理職、

本年度は全職員を対象に取り組んでいる。内容は一定の明確な基準で客観的に判断し、公平公正に決定していきたい。

事務事業評価について

問 15年度よりパソコンを324台配置されグループウェア維持経費等で19年度には、年間3千861万円が計上されている。その効果は伝達の迅速化、事務改善、住民サービスの向上等と聞いているが一般的には利便性はもとより省力化、残業の減少等を含めて費用対効果はどうか。

答 国の指針を受けて15年度よりグループウェアの導入をしてきた。費用対効果は電子化以前に比べると格段の事務の効率化が進むとともに人件費の削減等の効果があったと確信している。

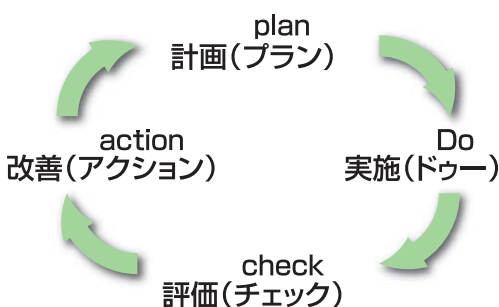
行政評価システムについて

問 行政内部で素晴らしい評価をされていても市民から見ると自画自賛の域を出

ない。この際、市民公募をして調査研究そして体験を通じた客観的評価をする課を創設してはどうか。結果、余剰人員が出た時は市長の政策の具現化を図る課を創設してはどうか。また市民の中で評価等の経験のある方を行政の幹部に登用してはどうか。

答 評価については有識者とともに一つの形を整えようとしている。余剰人員については職員の削減、スリム化を図りたい。民間からの登用は経験を持った方々の知恵、力をお借りすることも大切と考える。

行政評価



高齢者福祉対策への
取り組みについて

問 高齢化社会に対応するため、高齢者福祉対策の内容の充実が求められている。本市では現在、高齢者福祉計画・第4期の作成にむけて取り組みられているが、高齢化率の推移として、65歳以上の人口は昨年10月では1万3515人の19・4%で、23年には1308人の増で21・6%になるという報告を受けたが、基本理念の「地域で支えあいながら、安心して輝いた生活がおくれるまち ふるさと天理」の実現に向かって、今後の新たな、市独自の取り組みは何か。

やかな支援が受けられるよう、多様な施策を引き続き進めていきたい。現在は福祉サービスということで、緊急通報装置、ひとり暮らしの高齢者への乳酸菌飲料の配付、また要介護高齢者に紙おむつの配付等いろいろな事業を行っている。第4期も、いま以上の充実した福祉サービスの充実に努めていきたい。

(健康福祉部長)

問 計画の中で、いつまでも健康で過ごすために健康な65歳から活動的な85歳を目指すところがあるが、百歳天理の理念の実現にむけた考えは。

答 65歳以上の年配の方々の自立と、いきいき百歳天



理に向かって邁進していただくための様々な取り組みやきめ細かな手だてを加えて対応していくべきと考えている。社会福祉協議会に委託していたボランティアセンターの活動内容も福祉だけでなく、文化や歴史等の分野についても人材を掘っていきたい。(市長)

自治基本条例制定について

問 地方自治体の憲法と言われる自治基本条例は、地域のことは住民自身が決めるといふ住民自治の基本ルールを定め、地方自治をより一層発展させる必要性から、すでに百以上の地方自治体で制定されています。この条例の制定についてお尋ねします。

答 自治基本条例は、まちづくりの基本理念・原則を定める条例で、最高規範としての性格を持つことから

自治体の憲法と言われている。制定に向け研究し進めていきたい。

地域医療計画について

問 医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、生活習慣病中心の疾病構造の変化、医療の高度化、医師不足、診療報酬改定等大きな変化が生まれています。地域医療と公立病院の危機の根本には、社会保障制度の連続改悪による診療報酬の引き下げと患者負担増による受診抑制、地方交付税の大幅な削減があります。地域医療は、保険・医療・福祉の

機能的な連携の中で社会保障と医療保障制度、自治体財政の総合的な対策が必要です。市の医療計画の作成についてお尋ねします。

答 地域医療計画は県単位で実施することになっていない。作成は考えていないが、市立病院経営改革プランをまとめ、市立病院の経営安定に全力を挙げているところです。

他議会から視察に

(2月～5月)

- ◎神奈川県逗子市(3名)
- ・地震防災対策アクションプログラム
- ・自主防災組織について
- ◎大阪府泉南市(5名)
- 行政と宗教学者との共存のまちづくりについて
- ・宗教文化都市としてのまちづくり
- ・宗教学者と行政との関係
- ・天理市の財政状況



平成21年度 予算

一般会計は218億5千万円 総額は439億9千3百万円

予算審査特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

◎大橋 今北 萩
橋田 西田 原
基和 康利 文
之男 世光 明
○廣岡 寺加
井部 井藤
洋哲 正嘉 久次
司雄 則次

会計別当初予算額

(単位：千円、%)

会計名	平成21年度	平成20年度	比較増減	増減率		
一般会計	21,850,000	22,000,000	△150,000	△0.7		
特別会計	国民健康保険	6,544,000	6,871,400	△327,400	△4.8	
	介護保険	3,513,400	3,426,900	86,500	2.5	
	後期高齢者医療	552,500	578,200	△25,700	△4.4	
	老人保健	17,800	523,600	△505,800	△96.6	
	大和都市計画下水道事業	4,886,600	5,962,600	△1,076,000	△18.0	
	住宅新築資金等貸付金	40,100	49,300	△9,200	△18.7	
	土地区画整理事業	136,000	63,500	72,500	114.2	
	特別会計小計	15,690,400	17,475,500	△1,785,100	△10.2	
	企業会計	市立病院事業	2,104,013	2,130,571	△26,558	△1.2
		水道事業	4,349,473	5,696,895	△1,347,422	△23.7
企業会計小計		6,453,486	7,827,466	△1,373,980	△17.6	
合計	43,993,886	47,302,966	△3,309,080	△7.0		

意見・要望

◎ボランティアセンターの所管替えに伴い、これまでの登録団体が行政のパートナーとして担われてきた経緯があり、今後より多くの幅広い視野で自主的なボランティアを育成し、利用促進を図るとともに各種関係

福祉団体にも利用負担を考慮されるよう要望。
◎地籍調査に関して、利害関係の問題もあり、地権者が納得しながら進められるよう要望。
◎移动通信用鉄塔施設建設に当たり、電磁波が人体に与える影響など住民と事業者と行政も連携して対策を講じられるよう要望。

◎市職員の通勤手当支給に
関し、実態の精査と把握に
努められるよう要望。
◎区長連合会運営交付金の
会計報告に関しては、他の
各種団体においても領収書
の添付を義務付けるなど、
監査には万全を期されるよ
う要望。
◎コピー用紙の購入に関し
て、経費削減のため競争入
札により購入されるよう要
望。
◎ごみ最終処分場の延命を
図る手法等について研究さ
れ、実現できるよう要望。
◎独居老人実態把握調査に
努められ、日常の困りごと
等を支援するサービスの検
討を要望。
◎保育所持機児童の解消策
を要望。
◎ゴミの分別収集に関し、
リサイクル資源としての有
効利用とゴミの持ち去り対
策を講じられるよう要望。
◎てくてくてんりウオーキ
ングなど集客率の向上と観
光施設整備の推進を要望。
◎公民館での活動事業にお



いて、自主的な育成と公平
な補助金の運営を要望。
◎災害の起こりうる可能性
がある道路、河川等未然防
止できる箇所についての対
応を要望。
◎「天理な祭り」について、
子どもからお年寄りまで喜
び、まちの活性化を図るた
め創意工夫し、招待チーム
の見直しなど、経費削減に
努められるよう要望。
◎各公民館にAEDの設置
を順次導入されるよう要望。
◎学校給食について、食物
アレルギー対策には十分に配
慮し、万全を期されるよう
要望。
◎山の辺第一工区土地区画
整理事業については、長年
の懸案事項であり、地権者
及び関係機関の理解と協力
のもと、より一層の事業推
進を要望。

●議案の議決結果●

全会一致で可決した議案

【予算案】 ○20年度一般会計補正予算 ○20年度国民健康保険特別会計補正予算 ○20年度介護保険特別会計補正予算 ○20年度後期高齢者医療特別会計補正予算 ○20年度老人保健特別会計補正予算 ○20年度大和都市計画下水道事業特別会計補正予算 ○20年度住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算 ○20年度土地区画整理事業特別会計補正予算 ○20年度立病院事業会計補正予算 ○21年度一般会計予算 ○21年度国民健康保険特別会計予算 ○21年度介護保険特別会計予算 ○21年度後期高齢者医療特別会計予算 ○21年度老人保健特別会計予算 ○21年度大和都市計画下水道事業特別会計予算 ○21年度住宅新築資金等貸付金特別会計予算 ○21年度土地区画整理事業特別会計予算 ○21年度立病院事業会計予算 ○21年度水道事業会計予算

【条例案】 ○ボランティアセンター条例の制定 ○職員定数条例の一部改正 ○特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正 ○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 ○一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 ○介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定 ○大和都市計画事業山の辺第一工区土地区画整理事業保留地処分金基金条例の制定 ○市税賦課徴収条例の一部改正 ○手数料条例の一部改正 ○学童保育条例の一部改正 ○人権センター条例の制定 ○介護保険条例の一部改正 ○自転車等駐車場条例の一部改正 ○中小企業振興対策審議会条例の一部改正 ○市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正

【その他】 ○市有地の処分 ○名阪高架下駐車場の指定管理者の指定 ○売買代金請求事件に係る調停案の受諾 ○市道路線の廃止及び認定 ○権利の放棄

【同意案】 ○教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて ○教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて ○監査委員の選任につき同意を求めることについて ○固定資産評価審査委員会の選任につき同意を求めることについて

【承認案】 ○専決処分の承認を求めることについて

意見が分かれた議案等

【議案】 ○第10号 平成21年度天理市一般会計予算 ○第12号 平成21年度天理市介護保険特別会計予算 ○第31号 天理市介護保険条例の一部改正について

各議員の賛否（賛成…○・反対…×・棄権…△）※議長は採決に加わりません

会派	新風会			クリエイティブ天理						ニューホープ			無会派				結果				
	西辻正美	平井守	加藤嘉久次	東田匡弘	佐々岡典雅	大橋基之	北田利光	今西康世	寺井正則	岡部哲雄	堀田佳照	廣井洋司	三橋保長	中田景士	吉井猛	荻原文明		榎堀秀樹	松井真理子	飯田和男	
第10号	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	△	○	○	可決	
第12号	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第31号	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

反対討論（趣旨）

第10号 荻原：雇用と所得が減少の中、市民生活は深刻な事態である。手数料や介護保険料の値上げ等これ以上市民の負担増は中止すべきであり、地域経済の活性化をはかり、市民の暮らし・地域をまもる施策の充実を求める。

第12号 荻原：景気後退の中、介護保険料の値上げを含むものであり、これ以上の市民負担をふやすべきではない。

第31号 荻原：第12号と同趣旨



4 月 臨 時 会

新体制人事発足!!

議長に北田 利光氏

副議長に平井 守氏

監査委員に大橋 基之氏

4月23日に開会した臨時会では、南市長の招集のあいさつの後、議長・副議長の選挙を行い、議長には北田利光氏が、副議長には平井守氏が当選しました。

続いて、山辺広域行政事務組合議会議員の選挙、農業委員会の委員の推薦を行い、また、監査委員には大橋基之氏を原案同意しました。次に常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行うとともに、各正副委員長の互選を行いました。

その後、専決処分ほか1件の2議案について市長より提案説明があり、いずれも原案どおり承認・可決し閉会しました。

ごあいさつ



議長 北田利光

若葉の鮮やかな季節、市民の皆様方におかれましては、健やかに過ごしのことと存じます。平素は市議会に暖かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、去る4月23日の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長の要職をお預かりすることになり、身に余る光栄でございます。

もとより浅学非才ではございますが、本市発展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意尽くす覚悟でございます。

さて、本市は市制施行以来、都市計画街路、上下水道など市民生活に欠くことのできない都市施設を整備し、さらに、福祉、教育の充実を図り、着実に発展してまいりました。また、大和青垣国定公園をはじめとする美しい自然環境にも恵まれ、日本最古の道といわれる「山の辺の道」をはじめ、多くの国宝、重要文化財が残されております。

市議会といたしましては新体制のもと、都市基盤整備の充実と、美しい自然や貴重な文化財の保護との調和を保ちながら住みよいまちづくりをめざし、また、議会の活性化、市民に身近な議会、開かれた議会の実現に向け邁進いたす所存であります。

どうか今後とも、市民の皆様方の一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会

(議会広報編集委員会)

議会の運営に関する事項、議会の規則、委員会に関する条例等の事項、議長の諮問に関する事項、陳情、議会広報発刊に関する事項等を審査

- ◎寺井 正則 ○飯田 和男
岡部 哲雄 佐々岡典雅
三橋 保長 加藤嘉久次

会派構成表(届出順)

◎幹事長 ○副幹事長

平成21年4月27日現在

会派名称	人員	所 属 議 員
新 風 会	4	◎加藤嘉久次 ○東田 匡弘 西辻 正美 平井 守
クリエイティブ天理	5	◎大橋 基之 ○堀田 佳照 飯田 和男 今西 康世 寺井 正則
ニューホープ	3	◎三橋 保長 ○中田 景士 廣井 洋司
市民クラブ天理	3	◎佐々岡典雅 ○岡部 哲雄 北田 利光
無 会 派		吉井 猛 松井真理子 榎堀 秀樹 荻原 文明

総務財政委員会

文書、広報、平和、財政、税務、選挙、姉妹都市、監査、管財、情報政策、地域安全、防災、市民会館などに関することの審査

- ◎中田 景士 ○西辻 正美
飯田 和男 吉井 猛
北田 利光

常任委員会の 仕事と委員

(議席順)

- ◎委員長 ○副委員長

文教民生委員会

教育、スポーツ、文化財、図書館、生涯学習、文化センター、社会福祉、高齢者対策、介護保険、保健などに関することの審査

- ◎岡部 哲雄 ○東田 匡弘
堀田 佳照 北田 利光
松井真理子

市民経済委員会

住民登録、男女共同参画、ごみ処理、環境保全、産業廃棄物対策(苜原町)、国民年金、国民保険、後期高齢者医療、商工、観光、農業、人権啓発、病院事業などに関することの審査

- ◎今西 康世 ○廣井 洋司
寺井 正則 平井 守
榎堀 秀樹

建設水道委員会

道路、河川、公園、都市開発、市営住宅、下水道、水道事業などに関することの審査

- ◎加藤嘉久次 ○三橋 保長
佐々岡典雅 大橋 基之
荻原 文明

平成20年度

行政視察

全国各市には、地域の特徴などを活かしたまちづくりが進められており、議会運営や行政施策などの見識を深めるため、全国各地の議会から行政視察のため本市を訪問されています。本市議会も下記のとおり行政視察を行いました。

委員会名	期 間	行 政 視 察 地 (調査、研究項目)
文 教 民 生	10/2~4	・福岡県筑紫野市「放課後児童クラブ」及び「こども条例の制定」 ・福岡県北九州市「環境教育・施策」 ・大分県豊後大野市「認定こども園」
議 会 改 革 推 進 特 別	10/17	・三重県伊賀市「議会基本条例について」
建 設 水 道	10/20~22	・山口県宇部市「市道の里親制度について」及び「公園ボランティア制度」 ・山口県山陽小野田市「水道事業総合計画」 ・山口県萩市「高齢者向けの市営住宅シルバーハウジング」
市 民 経 済	11/12~14	・鹿児島県指宿市「家庭環境ISO」及び「観光地の整備、宣伝、誘客活動の推進」 ・鹿児島県南九州市「男女共同参画推進の取り組み」及び「観光施策について」 ・熊本県八代市「中心市街地活性化プロジェクト」等
議 会 改 革 推 進 特 別	11/25~26	・福島県会津若松市「議会基本条例について」
議 会 運 営 (広 報 編 集)	1/22~23	・東京都稲城市「議会広報編集について」及び「議会改革について」 ・東京都多摩市 上記と同様
総 務 財 政	1/26~28	・沖縄県沖縄市「企業立地推進事業」 ・沖縄県那覇市「企業立地雇用推進事業」 ・沖縄県名護市「職員事務事業改善提案制度」

天理大学との学生議会

「開かれた議会」・「市民に身近な議会」をはじめ議会改革に取り組む本市議会では、大学生に体験を通して、地方自治、地方議会に関心を持ってもらうため、去る2月12日天理大学の学生14人を招いて、全国的にもユニークな試みである「学生議会」を開催しました。

学生議会では、学生が本会議場の議員席に座り、理事者席の議員に対して、6人の学生が一般質問を行いました。質問された項目は次のとおりでした。

- ◎議会開会日数の考え方について
- ◎議員報酬の考え方について
- ◎政務調査費の考え方と公開について
- ◎議員定数の考え方について
- ◎議員定数についての天理市議会における議論の経過について
- ◎議員の日常生活と日常活動について
- ◎学生をはじめ若者との関わりについて
- ◎学生や若者の声をどのように議会や行政に反映させるのか
- ◎市民に開かれた議会、休日や夜間議会の開催について
- ◎二元代表制とチェック機関としての議会の現状について
- ◎市民への説明責任について
- ◎議会運営の改革について



学生議会終了後に議員との意見交換会を開催し、学生達から「議会、議員が身近に感じる事ができた」・「若者達との信頼関係を築いてほしい」・「良い経験になった」など、様々な感想や意見をいただきました。

編集後記

議会広報編集委員になって、あっという間に一年が過ぎました。

議会では、市民に開かれた議会、わかりやすい議会を目指し、議会改革に取り組んでいます。

今回の「市議会だより」から、意見の分かれた議案に対する各議員の賛否とその理由を掲載することとしました。

限られた紙面の中ですが、市政や議会の情報をできるだけ市民の皆さんに発信できるように、また、親しまれる「市議会だより」作成に向け、紙面作りにも今後努力して参ります。

一年間、ありがとうございました。

